

# J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取中央） 1 月号

## 1. 「女性の集い」を開催！

12月12日、J A 鳥取中央本所において「女性の集い」を開催し、女性会会員、J A 役員ら約 80 名が参加した。

女性の集いは、女性会会員が J A 役員に対し直接意見や要望を伝えることで、よりよい J A 事業運営を行っていくとともに、会員の相互交流を通してより活力ある女性会活動を行っていくことを目的としたもの。J A 役員との意見交換では、J A 事業に関して活発な意見交換が行われ有意義な集いとなった。



## 2. 組合員との意見交換を行う！

J A 鳥取中央は、組合員との対話の充実を図るため、栗原組合長が 12 月 20 日、1 月 14 日に意見交換を行った。

平成 26 年から 3 期オリジナル野菜友の会（中玉トマト）の部会長として活躍されている村岡高志さん、西瓜・中玉トマトを主体に農業を営む手島文平さん、琴浦ミニトマト生産者の高塚哲也さん、北海道出身で琴浦町に移住し西瓜・ミニトマトを栽培する笹浪享祐さんから、J A に対する要望や現在の生産状況などについて聞き取りを行いながら、J A として出来る限りバックアップをしていく意向を伝えた。

J A 役員による意見交換は、平成 30 年 5 月より実施しており、今後も継続して組合員との対話を増やし、J A 施策に活かしていく。（平成 30 年度は 30 件、令和元年度は 21 件の意見交換を行った。）



## 3. 春高バレー出場の鳥取中央育英高等学校に特産品と共にエールを送る！

J A 鳥取中央は、県立鳥取中央育英高等学校男子バレーボール部が全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場することを受けて、12 月 23 日に特産品と共にエールを送った。

地元にある高校はもとより“中央つながり”という意味を込めて、鳥取県産米オリジナル新品種「星空舞」10kg、長芋「ねばりっこ」10kg、とんかつ用豚肉 10kg、J A えひめ中央の特産品「伊予柑ゼリー」3 箱を贈呈した。

この特産品には、“星空に舞うがごとくボールを打ちまくり”、“粘り強くボールを拾い”、



“とんかつを食べて勝つ”という意味を込めた。また、西日本豪雨の復興に向けて栽培に取り組む「伊予柑」を使ったゼリーで、食べて勝利をもぎとってほしいという意味も込めた。（JAえひめ中央は、令和元年10月に協定を結んだ「JA中央サミット」の加盟JAのうちの1つ）栗原組合長は「JA役職員全員で応援している。鳥取県の名を全国に轟かせてほしい」とエールを送った。惜しくも鳥取県初の一回戦突破とはならなかったが、1月に開催された鳥取県高等学校バレーボール新人戦では、優勝を飾った。